

●男女共同参画社会 今を知るレポート●

# 未来学・人生設計のサポーター

## ～ファイナンシャル・プランナー～

社会の仕組みが急速に変化しています。ご自身の「未来」をどんな風に設計していますか？

### ありがとう

鹿児島生まれの大分育ち。学生時代を福岡で過ごした後、帰郷して損害保険会社に入社しました。経理・営業内部事務に従事するうちに仕事上の知識も増え、時には代理店さんへのアドバイスも出来るようになりました。

「ありがとう」と言ってお礼することがただただ嬉しくて、もっと勉強すればもっと自分は役に立てるという一心で、ファイナンシャル・プランナーの勉強をはじめました。

### 時代の変化

右肩上がりの時代、一生懸命に働いて、貯蓄金と保険さえあれば何も心配しなくて良いという時代は終わりました。これ



若松亜希子FP事務所：

ファイナンシャル・プランナー

若松亜希子さん

ファイナンシャル・プランナーとは、保険だけではなく、税務・相続・不動産・金融など幅広い分野に渡って、包括的にお金の流れをアドバイスする仕事です。

からは、自ら人生設計をしておかないと、明日のことも分かりません。年金制度も確定給付型年金から確定拠出型年金へと変わり、掛け金を払い込んだ後の運用方法は自分で選択しなければならなくなります。人任せではどうしようもなくなつたわけです。

### 自分のお金

例えば、日々のお買い物をするとき、広告を見比べて少しでも安い方へ行くとします。同じような感覚で、ご自分の資産運用についても日常的に考える癖をつけなければなりません。

この4月にペイオフが凍結解除されます。1000万円預金がないからといって、決して無関係な話ではありません。該当する金融機関の破綻処理が決まるま

### 意識改革

で預金は凍結されますから、自分のお金なのに金額は自由に引き出しができません。また、超低金利時代、預貯金に頼ってばかりでは貯蓄が目減りしてしまうかもしれません。金融商品の元本われリスクを恐れるばかりではなく、預貯金が増えないというリスクをも考えなければならぬのです。

社会情勢や関係する金融機関の体力、企業の動向などを日常的に情報収集するくらいの気持ちが必要ですよ。

率直に言えば、今の30代40代の方々が老後をどのように過ごせるかは、自己責任でマネープランをしっかりと持っているかどうか大きな鍵です。是非、認識を新たにして欲しい年代です。

### 未来学

ファイナンシャル・プランナーは、将来を予想して「こうなるだろう」から「こうしたほうが良いですよ」という、プラスのお話しをする職業です。

何年後にどんな風になっていたか、将来のことを考えるのは本来とても楽しいものです。未来を考えるお手伝いができることは、とても嬉しくやりがいがあります。